

平成29年度 工学系学生向け海外研修

ELEP (Engineering Leaders English Program)

九州大学カリフォルニアオフィスの支援を受け

- サンノゼ州立大学 I-Gatewaysでの英語研修
- 起業家やベンチャーキャピタルの方々の講義
- シリコンバレーにある大学やハイテク企業等へのフィールドトリップ

に参加しながら英語力をブラッシュアップし、アントレプレナーシップ(起業家精神)の実態に触れ、イノベーションが起こる仕組みの理解を目指すプログラムです。

実施期間: H30年2月17日 ~ 3月25日 (5週間)

実施場所: サンノゼ州立大学・I-Gateways

募集人員: 30名

募集締切日: H29年10月12日(木)

対象者: 工学部・工学府・システム情報科学府の日本人学生

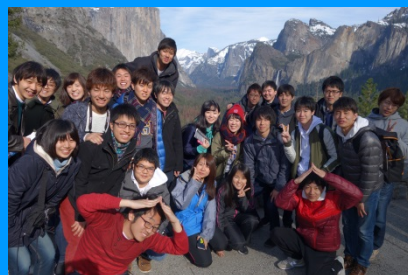
滞在先: ホームステイ(大学近く的一般家庭)

参考費用: 約70万円

※プログラム参加費用補助あり(条件付き)

JASSO奨学金16万円+工学研究院より支援金

※ELEP終了後、4単位認定(参考科目)



プログラム説明会

第1回 H29年 7月20日(木) 16:40~17:40

第2回 H29年 8月 4日(金) 16:40~17:40

第3回 H29年10月 4日(水) 12:10~12:50

お昼を食べながら参加OK

会場: 伊都キャンパス 総合学習プラザ第7講義室

〈問い合わせ先〉

国際教育支援センターW4_2F 工学部等教務課内

担当: 水谷 Tel: 092-802-3870

E-mail: eng-intl@jimu.kyushu-u.ac.jp

URL: <http://irose.kyushu-u.ac.jp/>



参加学生の声

- 世界的に有名なIT起業がひしめいているシリコンバレーに来ることで自分の専門分野に対してより一層熱意を持たせた。現地でエンジニアとして働いている方の考えを聞くと、「自分はこのままではだめだ、変わらなくては。」と感化される。自分の将来について深く考える良いきっかけになった。
- 今までまわりに流されがちなタイプであったが、この研修を通じて自分の意見をしっかりと持ち、行動できるようになったと感じる。
- 海外に一月以上滞在する経験が今回初めての体験であったが、自分の非力さをより実感し改めて長期の留学によって自分を高めたいと思った。
- 日本では英語と日本語のtranslateを繰り返す授業が大半でしたが、I-Gatewaysの授業ではAccent TrainingやDiscussion Skillsなどのより実践的な英語のトレーニングを積むことができました。
- この研修で様々な出会いがあり、その過程でいろいろなモチベーションやエネルギーを得ることができた。
- 自分の将来を考えたときに、普通に大学を卒業して、日本の大学院に進んであわよくばどこかの宇宙開発事業をやっている重工業系のメーカーに就職できればいいかなぐらいしか思いつかなかったが、今回このELEPに参加してみて、自分の将来の選択肢は一つじゃないと認識した。
- シリコンバレーのスタートアップの方々や特別講義をしてくださった講師の方々は、日本、あるいは世界を変えたいという強い思いを持っていた。その姿を見て、自分もこういう風になりたいと思った。



- 今まで知らなかったことがたくさん頭に入ってきて、日本に対する危機感、ソフトの重要性、起業のことなど様々なことを考えるようになった。
- 今までは、起業などは自分と程遠いものだと思っていましたが様々な方々の講演を聞いていると苦労は人一倍するが十分に可能であるということが今回のELEPで1番感じたことであった。